



タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3521		
科目名	社会安全政策論		
担当教員	金山 泰介,古谷 洋一		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 3		
講義室	1207	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識 10% E1学識と専門技能 50% G1状況把握 10% I1理解・分析と読解 10% I2量的分析 10% I3情報分析 10%		
教員の実務経験	金山泰介：警察庁、都道府県警察、内閣官房、在タイ日本大使館等34年間の実務経験を基に、社会安全政策の企画、立案、執行、評価の各段階について具体的に説明します。（第2～5回、第7回） 古谷洋一： 1986年に警察庁に入庁し、以後35年余にわたり警察庁での治安政策立案と都道府県警察での治安対策実施に従事した経験を踏まえ、制度と現実の両面から市民生活の安全を巡る問題を具体的に説明します。（第9～14回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	犯罪、事故及び災害から地域社会の安全を守るためには、行政、警察、学校、企業、住民など地域社会を構成するステークホルダー全てがそうしたリスクの存在を認識し、相互に連携して具体的なリスクを特定し、評価し、それに対応した対策を策定することが必要です。その際に重要なのは、行政や警察に頼るのではなく、学校、企業、住民などが自らの問題と捉えて主体的に関与する姿勢です。そうした活動を効果的かつ持続的に行うためには、それぞれどのような役割を持ち、どのように連携すべきか、実例に基づきながら法制度や社会政策の観点から考察します。授業形態は、教員2名によるオムニバス講義形式で行い、第2回～8回を金山が、第1、第9～15回を古谷が担当します。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。（キーワード）社会安全・犯罪・地域社会		
授業の趣旨	■ 副題 人に起因する危険から個人や社会を守る政策、制度を学ぶ。		

	■授業の目的 犯罪対策閣僚会議が全省庁の大臣によって構成されているように、社会の安全を守るための政策主体は大変広範なものであることから、まず、その概要を把握し、パブリックセキュリティ領域で学ぶに当たっての基本的な知識の習得を目指す。 ■授業のポイント 社会安全政策におけるコストは、単に財政的なものに留まらず、権利自由の制限が含まれる。こうした、コストと政策目的のバランスをとるには、多角的な視点からの検討が必要である。										
総合到達目標	■一般目標（GIO） 社会に存在する様々な人に起因する危険を防止、軽減、対処するための政策の基本的な考え方を自分の言葉で説明できるようになること。 ■個別行動目標（SBOs） ・ 刑事司法制度の概要及び目的を説明できる。（第3回） ・ 犯罪被害者支援の概要と犯罪被害者の置かれた状況を説明できる。（第5-6回） ・ 犯罪対策閣僚会議の内容及び目的を説明できる。（第9回） ・ 平成期の社会安全政策の大きな変化についてその特徴を説明できる。（第10～12回） ・ 道路交通安全政策の概要及び課題を説明できる。（第13回）										
成績評価方法	■授業内試験2回（80％）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I2・I3（評価の視点） 社会安全政策に関する断片的な知識の羅列ではなく、社会の発展や国民の意識の変化とのかかわりなど政策の背景を踏まえた総合的な論述を求めます。理解の正しさ、表現力も評価します。 （フィードバックの方法） 授業内で論点等の解説をします。 ■授業における個別質問への回答内容等授業参加度（20％）：適用ルーブリック E1・I1（評価の視点） 予習・復習の励行の有無が評価されます。 （フィードバックの方法） 授業内で説明します。										
履修条件	特にありません。										
履修上の注意点	事件や事故の報道に積極的に接しておいてください。										
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義の項目、評価方法等を理解する。 ③予習(60分) シラバスの精読 テキストの入手 ④復習（60分）講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係を検討する。</td></tr><tr><td>2</td><td>①授業テーマ 社会安全政策論とは ②授業概要 社会安全政策論の意義、射程、理論的基礎等(E)を説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1)担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。 ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、社会安全政策の意義を考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、社会安全政策の基本的な考え方をまとめる。</td></tr><tr><td>3</td><td>①授業テーマ 社会安全政策の担い手 ②授業概要 社会安全政策を担う行政機関及び地域社会、住民等の主体的な関与の在り方が、時代とともに変化しどのように現代にいたっているのか（E）、戦後の歴史に沿って具体的に説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、国民、市民が果たす役割を検討する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、社会安全政策の担い手（ステークホルダー）の関連性をまとめる。</td></tr><tr><td>4</td><td>①授業テーマ 犯罪統計と犯罪情勢の推移 ②授業概要 戦後の犯罪情勢の変化を包括罪種別に概観するとともに我が国の犯罪統計について（I）、その特徴を海外統計との比較において説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1・I2） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪統計の対象を理解する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、犯罪統計におけるキーワードを記憶する。</td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義の項目、評価方法等を理解する。 ③予習(60分) シラバスの精読 テキストの入手 ④復習（60分）講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係を検討する。	2	①授業テーマ 社会安全政策論とは ②授業概要 社会安全政策論の意義、射程、理論的基礎等(E)を説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1)担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。 ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、社会安全政策の意義を考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、社会安全政策の基本的な考え方をまとめる。	3	①授業テーマ 社会安全政策の担い手 ②授業概要 社会安全政策を担う行政機関及び地域社会、住民等の主体的な関与の在り方が、時代とともに変化しどのように現代にいたっているのか（E）、戦後の歴史に沿って具体的に説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、国民、市民が果たす役割を検討する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、社会安全政策の担い手（ステークホルダー）の関連性をまとめる。	4	①授業テーマ 犯罪統計と犯罪情勢の推移 ②授業概要 戦後の犯罪情勢の変化を包括罪種別に概観するとともに我が国の犯罪統計について（I）、その特徴を海外統計との比較において説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1・I2） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪統計の対象を理解する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、犯罪統計におけるキーワードを記憶する。
回	内容										
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 講義の項目、評価方法等を理解する。 ③予習(60分) シラバスの精読 テキストの入手 ④復習（60分）講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係を検討する。										
2	①授業テーマ 社会安全政策論とは ②授業概要 社会安全政策論の意義、射程、理論的基礎等(E)を説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1)担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。 ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、社会安全政策の意義を考察する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、社会安全政策の基本的な考え方をまとめる。										
3	①授業テーマ 社会安全政策の担い手 ②授業概要 社会安全政策を担う行政機関及び地域社会、住民等の主体的な関与の在り方が、時代とともに変化しどのように現代にいたっているのか（E）、戦後の歴史に沿って具体的に説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、国民、市民が果たす役割を検討する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、社会安全政策の担い手（ステークホルダー）の関連性をまとめる。										
4	①授業テーマ 犯罪統計と犯罪情勢の推移 ②授業概要 戦後の犯罪情勢の変化を包括罪種別に概観するとともに我が国の犯罪統計について（I）、その特徴を海外統計との比較において説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。（E1・G1・I1・I2） ③予習（120分）事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪統計の対象を理解する。 ④復習（120分）講義ノートを整理し、犯罪統計におけるキーワードを記憶する。										

5	①授業テーマ 犯罪被害者支援 ②授業概要 犯罪被害者に対する支援の拡大について(E)、歴史的な背景及び現行の法制度について説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪被害者支援の意義を考察する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、犯罪被害者基本計画の枠組みをまとめる。
6	①授業テーマ 犯罪予防の理論 ②授業概要 犯罪予防の理論の発展と応用の歴史について(E)、その概要を説明できるようになる。担当教員の実務経験を踏まえて具体的に説明します。(E1・G1・I1) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、身近な防犯施策と犯罪予防理論との関係を考察する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、犯罪予防の理論に基づく犯罪防止対策を確認する。 ⑤予習(120分) 事前に配布する犯罪被害の手記を精読し、犯罪被害者の置かれている状況を想像する。 ⑥復習(120分) 講義ノートを整理し、真に実効ある犯罪被害者の被害防止、軽減施策についてまとめる。
7	①授業テーマ 再犯防止対策 ②授業概要 主に受刑者に対する再犯防止のための対策について(E)、その概要を説明できるようになる。(E1・G1・I1) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料等を精読し、刑務所での生活を想像する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、再犯防止対策を確認する。
8	①授業テーマ 中間試験とその解説 ②授業概要 前半の講義内容からの出題する。出題の解説に基づき前半講義のポイントを押さえる。(C1・E1・G1・I1・I2・I3) ③予習(240分) 試験の準備をする。 ④復習(60分) 試験の解説に基づき、答案を再構成する。
9	①授業テーマ 総合的な犯罪抑止政策 ②授業概要 犯罪対策閣僚会議の設置と「犯罪に強い社会の実現のための行動計画」について(E)その背景、政策策定のプロセスを説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、「行動計画」策定の背景を検討する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、第1次から3次の「行動計画」の発展についてまとめる。
10	①授業テーマ 家庭等親密圏の安全 ②授業概要 配偶者暴力、ストーカー、児童虐待等親密な関係にある者の間で生ずる事案への対応についての教員の実務経験に即した解説を踏まえ、その変遷と現行法制度(E)を説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、親密圏内とそれ以外の犯罪の違いについて考察する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、夫婦間暴力、ストーカー対策、児童虐待対策に共通する政策的考え方についてまとめる。
11	①授業テーマ 反社会的勢力への対処 ②授業概要 暴力団等反社会的勢力への対処について、歴史的背景及び法制度の変遷(E)を説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2・I3) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、暴力団対策の歴史を考察する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、暴力団対策の変化と社会意識の変化についてまとめる。
12	①授業テーマ 経済活動の安全 ②授業概要 経済市場、消費者の安全についての諸対策について、その変遷及び現行法制度(E)について説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1・I2・I3) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、経済活動の安全に必要な基本的な事項を考察する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、経済活動の自由と消費者等の安全のための規制のバランスについてまとめる。

	13 ①授業テーマ 道路交通安全 ②授業概要 道路交通安全政策についての諸対策について、その変遷及び現行法制度(E)について説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1・I2・I3) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分の精読し、道路交通安全対策の基本的な事項を考察する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、道路交通安全対策の評価についてまとめる。 14 ①授業テーマ テロ対策 ②授業概要 テロの歴史とその対策の変遷(E)について説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I3) ③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分の精読し、テロの歴史を考察する。 ④復習(120分) 講義ノートを整理し、テロ防止のための規制の必要性和個人の自由とのバランスについてまとめる。 15 ①授業テーマ 期末試験とその解説 ②授業概要 全体の講義内容から出題する。出題の解説に基づき講義のポイントを押さえる。(C1・E1・G1・I1・I2・I3) ③予習(300分) 試験の準備をする。 ④復習(60分) 試験の解説に基づき答案を再構成する。
関連科目	刑事司法手続きI(RMGT3421) 警察制度(RMGT3525) 警察政策(RMGT3530) 刑事政策(RMGT3526) 犯罪と捜査(RMGT3529)
教科書	「新版 警察行政概論」金山泰介 立花書房(2019)
参考書・参考URL	「社会安全政策論」警察政策学会編 立花書房(2018)
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 初回授業時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限(重複を避けるためメールで連絡願います) その他の時間でもメールで事前アポをとることにより、研究室等で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ(70%) 災害マネジメント(10%) グローバルセキュリティ(10%) 情報セキュリティ(10%) ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学(70%) 法学(30%)

